

---

2次元空間における次の閉曲線  $C$  上の線積分  $\int_C \mathbf{A}(\mathbf{r}) \cdot d\mathbf{r}$  を計算せよ。

ここで、閉曲線  $C$  は原点を中心とする半径  $a$  の円周で、 $(a, 0)$  を始点に反時計回りに一周する。 $\mathbf{A}(\mathbf{r})$  は次式で与えられる。

$$\mathbf{A}(\mathbf{r}) = \frac{-y}{\sqrt{x^2 + y^2}} \mathbf{e}_x + \frac{x}{\sqrt{x^2 + y^2}} \mathbf{e}_y, \quad (\mathbf{r} = x\mathbf{e}_x + y\mathbf{e}_y) \quad (1)$$

曲線  $C$  上では、 $\mathbf{r}, d\mathbf{r}$  ( $0 \leq \theta \leq 2\pi$ ) は次の式で表される。

$$\mathbf{r} = a(\cos \theta \mathbf{e}_x + \sin \theta \mathbf{e}_y), \quad d\mathbf{r} = a(-\sin \theta \mathbf{e}_x + \cos \theta \mathbf{e}_y) d\theta \quad (2)$$

---

$\mathbf{r} = x\mathbf{e}_x + y\mathbf{e}_y$  は曲線  $C$  上で極座標表示をすると次のようになる。この時、 $a > 0$  である。

$$\mathbf{r} = x\mathbf{e}_x + y\mathbf{e}_y = a(\cos \theta \mathbf{e}_x + \sin \theta \mathbf{e}_y) \quad (3)$$

ここから、 $x = a \cos \theta$ ,  $y = a \sin \theta$  であることがわかる。そこで、 $\mathbf{A}(\mathbf{r})$  の各成分を極座標表示に書き換える。

$$\frac{-y}{\sqrt{x^2 + y^2}} = \frac{-a \sin \theta}{\sqrt{(a \cos \theta)^2 + (a \sin \theta)^2}} = -\sin \theta \quad (4)$$

$$\frac{x}{\sqrt{x^2 + y^2}} = \frac{a \cos \theta}{\sqrt{(a \cos \theta)^2 + (a \sin \theta)^2}} = \cos \theta \quad (5)$$

$\mathbf{A}(\mathbf{r}) \cdot d\mathbf{r}$  は内積であるので、各成分ごとの積を計算することで次のような式となる。 $\theta$  は円周一周りなので、 $0$  から  $2\pi$  の積分範囲となる。

$$\int_C \mathbf{A}(\mathbf{r}) \cdot d\mathbf{r} = \int_0^{2\pi} (-\sin \theta \mathbf{e}_x + \cos \theta \mathbf{e}_y) \cdot (a(-\sin \theta \mathbf{e}_x + \cos \theta \mathbf{e}_y) d\theta) \quad (6)$$

$$= \int_0^{2\pi} a(\sin^2 \theta + \cos^2 \theta) d\theta = \int_0^{2\pi} a d\theta = 2\pi a \quad (7)$$

---